



第16回ツール・ド・熊野太地半島周回コース

目次

トピックス.....	2	くじらの博物館便り.....	6
姉妹都市ブルームコーナー.....	3	お知らせ.....	8
住民福祉課便り.....	4	保健衛生関係行事予定.....	10

～平成 26 年度太地中学校体育祭が行われました～

5月24日（土）、太地中学校グラウンドで「今年もガチです～前を向いて勝利をつかめ～」をスローガンに太地中学校体育祭が行われました。

今年は、2チームで竹の棒を取り合い、取った竹の本数を競う「竹取物語」が大いに盛り上がりました。また、生徒全員による創作ダンスでは、各ブロックごとに様々な工夫がされており、観客を魅了しました。最後には、生徒全員による「みんなでガチリレー」が行われ、それぞれが自分のブロックの勝利のために一生懸命走っていました。



竹取物語



ブロック対抗リレー



創作ダンス



みんなでガチリレー

～消防団退団者感謝状贈呈式を行いました～

5月27日（火）、役場で、消防団を退団された方々に町長から感謝状を贈呈いたしました。

今回退団された方々におかれましては、長年にわたり消防団員として町のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。

今回退団された方々は次のとおりです。庄司保和さん、海野好詔さん、杉本眞理雄さん、籾内達也さん、由谷宏伸さんの5名です。



THE PEARLS

姉妹都市ブルームのコーナー



ブルームダイバーの生の声

「海を越える太地」特別展会場の石垣記念館で、かつてブルームで真珠貝ダイバーをしていた、太地在住の平見孝夫さんにお話をうかがいました。オーストラリア・クイーンズランド大学研究員の永田由利子さん、和歌山大学観光学部准教授の東悦子さん、福島大学行政政策学類准教授の村上雄一さんが平見さんの体験について質問し、当時のダイバーの仕事や生活が鮮明に語られました。



デレス（ダイビングスーツ）の前で。平見孝夫さん

一何歳でブルームに行ったのですか？

20歳の時（昭和31年）に行きました。

一仕事の内容は？

最初の1年は見習いダイバーで、「かしき」（炊事係）としてマレー人などと交代しながら働きました。2年目からはダイバーになりました。

一すでに日本人がいたんですね。仕事のしかたを教えてくださいましたか？

ベテランダイバーは教えてくれませんでした。海が澄んでいる時に他のダイバーの仕事を見て覚えました。

一貝はどれぐらい採りましたか？

私は（年間）35トン採りました。（※日本人の平均は27トン～28トン）マレー人や中国人もいましたが、日本人の3分の1採ればよいところでした。

一1日何回ぐらい海に潜りましたか？

何回もです。夜明けから朝食を食べてすぐ潜りました。深さは浅いところで8尋（1尋＝1.5m）、深いところで30尋（45m）でした。

一どんな服装で潜りましたか？

デレス（ダイビングスーツ）です。かま（ヘルメット）をかぶって、エアー（空気）を調整します。夏の間は半デレス（半分に切ったもの）を着ました。半デレスで貝を拾うときは、うつむいたら潮が入るので気を付けないといけませんでした。

一危険な目に遭ったことは？

テンダー（船上で命綱を管理する人）のミスで、私のバルブ（ヘルメットに入れる空気を調整する弁）が閉められたことがあります。エアーが止まって、かまに入っている分しかなくなりました。「空気送れ」の信号を送ったが、貝を見つけたと思ったらしく今度はロープが伸びました。あの時は危なかった。命がけでした。

一出航したら毎日必ず町の桟橋に戻ってきたのですか？

いえ、盆明けに出航したらクリスマスまで戻りませんでした。2月に出航したら8月まで戻らなかった。

一言葉は何を話しましたか？

マレー語は船で使うので覚えまし

た。英語はわかりませんでした。

一何を食べていたのですか？

コンビーフやイワシの缶詰です。沖では自分たちで釣った魚ばかり食べていました。米もあつたが質が悪い。玉ねぎやキャベツ、りんごは、沖に出ると切れてしまうか腐ってしまいます。

一真水はありましたか？

雨水をろ過して使っていました。生水は濁っているから飲めません。沖に出るといつも沸かして使っていました。

一オーストラリアから帰って来てどんな仕事をしましたか？

捕鯨船で南氷洋へ1年行きましたがやめました。それからまぐろのはえなわ漁を33年しました。

一またブルームに行きたかったのですか？

もう一度3年行くつもりでしたが、母親に強く引きとめられたので諦めるしかありませんでした。今でも太地の海に潜って、アワビやトコブシ、サザエなどを捕っています。

一ありがとうございました！

We Love Broome!
We Love Taiji!

住民福祉課便り

結核（胸部）レントゲン検診を受けましょう

“結核”はなくなった病気ではありません。現在もわが国最大の感染症です。結核の感染や発病を予防するには、1人ひとりのところが大切です。住民全員が協力して、1年に1回検診を受けましょう。



日時・場所は下記のとおりですので、都合のよい場所でお受け下さい。

		日 時	場 所
7月29日（火）	朝	午前 9時00分 ~ 9時30分	平見集会所前
		午前 9時45分 ~ 10時00分	平見農協倉庫前
		午前 10時15分 ~ 10時30分	平見県営住宅前
	夕	午後 5時30分 ~ 7時30分	漁業協同組合横
7月30日（水）	朝	午前 9時00分 ~ 9時15分	夏山もみじや旅館前
		午前 9時30分 ~ 10時10分	山本文雄氏宅前（暖海）
		午前 10時30分 ~ 10時45分	漁業協同組合横
	夕	午後 5時30分 ~ 7時00分	水の浦駐在所前
7月31日（木）	朝	午前 9時00分 ~ 9時30分	東新集会所
		午前 9時45分 ~ 10時15分	太地防災複合施設（太地郵便局横）
		午前 10時30分 ~ 10時45分	石垣記念館前（常渡）
		午前 11時00分 ~ 11時15分	公民館前
	夕	午後 5時30分 ~ 6時30分	森浦防災複合施設（森浦町営住宅横）



★ 検診当日は、胸部（結核・肺がん）受診票に記入の上、ご持参ください。

★ 妊娠の可能性のある方は、受診しないでください。

※6月に胸部レントゲン検診を受診された方へ

対象者全員に問診票を配布する予定ですが、今回の検診をうける必要はありませんので、ご了承ください。

お問い合わせ

太地町役場 住民福祉課

☎59-2335

「検診の申し込みについて」の様式が今年度から変わりました

町が6月より実施している各種健診について、皆さんすでに申し込みはお済みでしょうか？

5月に配布しました検診申し込み表「検診の申し込みについて」は、今年度より青色のA4サイズ用紙で、1人1枚となりました。希望する検診の実施2週間前までに、お近くの健康づくり推進員さんか、役場住民福祉課（☎59-2335）までご提出ください。お電話でのお申し込みも受け付けています。



●健康づくり推進員

堺 真弓	平 見
清水 文	大 東
磯崎 多津子	小東・寄子路
庄司 和子	新屋敷
奥村 洋子	水の浦
小畑 真里	暖 海
太田 卓子	森浦・夏山
上中 佳苗	

▲青色のA4サイズ用紙になりました

後期高齢者医療制度の被保険者証の色が『うすいオレンジ色』から『うすい緑色』に変わります

平成 26 年 7 月 31 日の有効期限満了に伴い被保険者証（以下、「保険証」という。）を更新いたします。新しい保険証は『うすい緑色』です。7 月上旬頃から順次郵便にて郵送する予定となっております。

今回お届けする『うすい^{みどりいろ}緑色』の保険証は 7 月 1 日から使用できます。

それが届くまでは現在お持ちの保険証「うすいオレンジ色」をご使用ください。
（「うすいオレンジ色」の保険証は平成 26 年 8 月 1 日以降使用できません。）

◆ 現在お持ちの保険証「うすいオレンジ色」について

新しい保険証『うすい緑色』がお手元に届き次第、「うすいオレンジ色」の保険証は、下記問い合わせ先にお越しの際にご返却いただくか、ご自分で細かく裁断するなどして、住所・氏名などが他人に知られないよう十分注意のうえ、処分してください。



うすいオレンジ色から
「うすい^{みどりいろ}緑色」へ

※平成 26 年度住民税の課税所得により、一部負担金の割合が変更になっている場合がありますのでご確認ください（住民税の課税所得が 145 万円以上の被保険者のいる世帯の方は、一部負担金の割合が 3 割となります）。

（例） 今まで 1 割だった方が 3 割負担に変更となる場合
「3 割（平成 26 年 7 月 31 日までは 1 割）」と表示されます。

◆ お問い合わせ ◆ 太地町役場住民福祉課 ☎ 59-2335

熱中症に注意しましょう

熱中症は気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状があらわれ、重症になると意識障害などが起こります。



熱中症を予防するために

- ◆ 水分をこまめにとり、充分休息をとる。
（※汗をかいたら塩分の補給も忘れずに！）
- ◆ 扇風機やエアコンを使って温度を調整する。
- ◆ 屋外では日傘や帽子を利用する。
- ◆ 日陰などを利用してこまめに休憩する。
- ◆ 炎天下での長時間作業は避ける。

★ 高齢者の方は特に注意が必要

熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65 歳以上）です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対する体の調整機能も低下しています。

のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をしたり、暑さを感じなくても扇風機やエアコンを使って温度調整をするように心がけましょう。

熱中症になった時の処置は・・・

- ① 涼しい場所へ避難させる
- ② 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- ③ 水分・塩分を補給する



※自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう！



写真：
左からモトコ・ユイ、キヨコ・マエダ、
ヒサヨ・シマダ、シズコ・シバタ
(Hatsuko Mary Higuchi 氏所蔵)

缶詰工場のナースたち

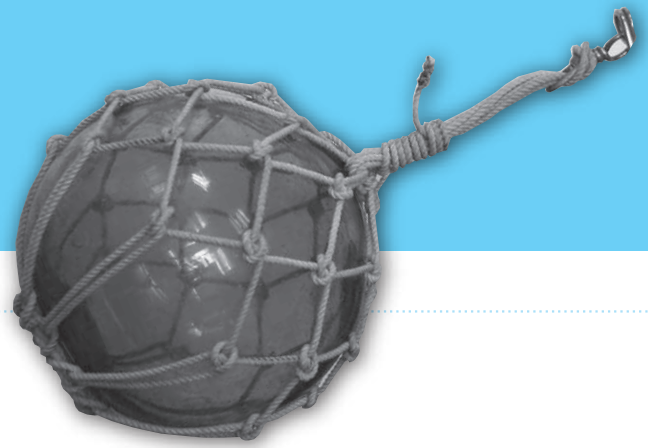
Cannery Nurses

□ サンゼルス港の一角にあるターミナル島の、文字通り漁港であったフィッシュ・ハーバーの缶詰工場では、戦争が始まるまで、紀伊半島南部から移り住んだ大勢の人々と、そこで生まれ育った二世たちが働いていました。米国連邦捜査局の捜査官は、日本軍が真珠湾を攻撃したその日から、一世の男性たちを拘束して連れ去りました。翌年の2月末には、島に残っていた一世の女性たちと二世たちも大統領令によって島からの退去を余儀なくされました。戦後、強制収容所を出た日系人たちが島に戻ることは許されなかったため、ターミナル島の日系人コミュニティの歴史は強制退去によって幕を下ろされたのです。

缶詰工場で働く人々の様子を記録した写真が少ないなかで、4人の若い日系人女性が、エプロンに長靴の姿で、おそらく中に魚を裁くための小包丁が入っているバケツを持って並んで、カメラに向かって微笑んでいる上の一枚は私に強い印象を与えました。その装いが看護婦に似ていたことから、彼女たちは「缶詰工場のナース」と呼ばれることもあったそうです。写真の出所が不明で、彼女たちが誰なのか長く分からなかったのですが、4人のうちの1人の子孫と先頃出会って、彼女たちの名前が判明しました。

左から2番目に写っているキヨコ・マエダさんは、マエダ・トクジロウさんとオシテ・キヌコさんの間に、カリフォルニア州サンタモニカで1916年に生まれました。間もなく母親が、そして3歳のときに父親が亡くなると、キヨコさんは湯浅町に住む叔母に育てられました。20歳になる頃に帰米してターミナル島にやってきて、1938年5月に結婚しました。キヨコさんが、太地出身の両親を持つミヨコ・カイさんと一緒に写っている写真もあります。同年代のお友達だったのでしょう。キヨコさんは、戦争が始まるとアリゾナ州ポストンの収容所に入り、戦後は農業に従事したそうです。1951年に夫が亡くなった後も農業を続け、4人の子供全員に大学教育を授け、2008年8月14日にお亡くなりになりました。

キヨコさんの長女で、写真を大切に保管しているハツコ・メアリー・ヒグチさんは、芸術家として、日系人の戦争体験を題材にした作品を制作していらっしゃいます。(http://maryhiguchiarts.blogspot.com)



ぎょく 漁具のはなし

3月号の広報たいじでお伝えした、ビン玉の保護網ほごあみの作り方についてお話したいと思います。(だいぶ時間があいてしまいましたが・・・)

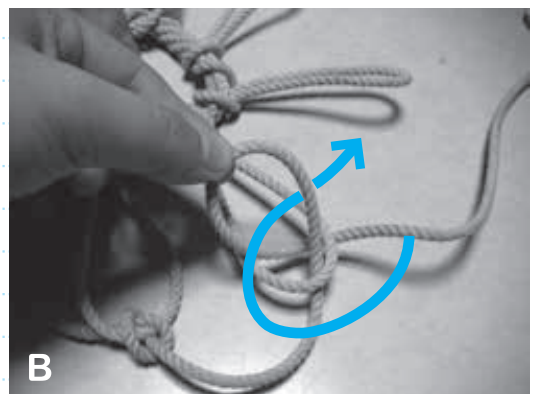
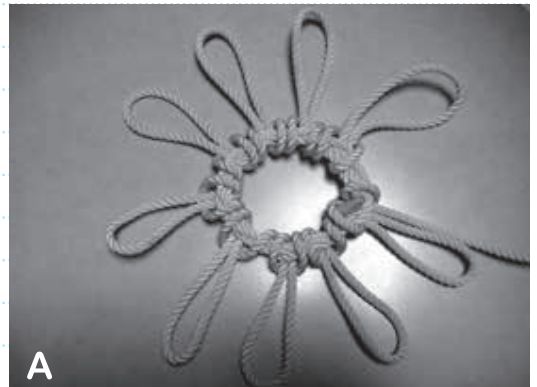
ビン玉をおおう保護網は、お尻の部分・胴体の部分・上の部分の3つに分けられることはお話しました。お尻の部分は、写真の花びらのような部分が、できるだけ同じ大きさになるようにしなければなりません(写真A)。そして、胴体の部分。これは、写真Bのような編み方で花びらをつなぐように編んでいきます。これを玉の大きさに合わせて、1周・2周とくりかえし編みます。最後に上の方をぐるぐるとしばってできあがり!

文章にすると簡単なのですが、中々すぐにはうまくできません。まず、写真Bの結び目ですが、ぎゅっと力を入れて結び目を作らないと、だんだんほどけてきてしまいます。また、胴体を編んでいく時、お椀のように玉をくるむ形にならねばなりません(写真C・スタッフが練習の末つくった、目がガタガタのお椀をご覧ください)。そして最後のビン玉の上部分。力を入れてロープを上の方にぎゅっとひっぱり、ロープの先端を網目を通して固定するのですが、思った以上に力が必要です(写真D)。普段の生活では、あまりしない力のかけ方をするので、コツがつかめないのです。スタッフ作と、延縄漁業OBさん作のビン玉を見比べてみますと、美しさは一目瞭然でした。

ロープワークに代表されるような漁業の技術の多くは、親から子へ、先輩から後輩へと受け継がれ、文字通りくりかえし「体を使って」体得されてきた技術であることを、改めて学ぶことができました。全国的に漁師さんの数が減少する一方の現在、こういった漁業技術の伝承は、どのようになされてゆくのでしょうか。

— お礼 —

ロープワークに関しまして、漁業関係者の皆様には、お忙しい中、多くのご指導を頂きました。同じことを何度も繰り返し聞いたり、ご面倒をおかけしたことと思いますが、最後まで暖かくご指導いただきましたことを、この場を借りてお礼を申し上げます。



お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

引き続き、無理なく継続して

夏の節電にご協力をお願いいたします

さらに、電力需給の逼迫が予想される場合には、お客様の健康に影響を与えない範囲、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

～節電に関するお問い合わせ先（関西電力：節電お問い合わせ専用ダイヤル）～

【電話番号】0800-123-0171（通話料無料）

【受付時間】平日9：00～17：00

（7月1日より開設、土日祝および8月13日～15日は除く）

※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※一部のIP電話からは、ご利用いただけません。

【国の節電期間・時間】

平成26年7月1日(火)～平成26年9月30日(火)までの平日9時～20時
(ただし、8月13日(水)～15日(金)までを除く)

～アイヌの方々からの 様々なご相談をお受けします～

日常生活でお困りのこと、嫌がらせ、差別など何でもご相談下さい。

相談専用電話

アイヌの方々のための専用フリーダイヤル
0120-771-208

受付期間 ～3月31日(火)

(※日曜、祝日、8/10-8/17、12/27-1/4はお休み)

時間 平日・土曜日：午前10時～午後5時

●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守

公益財団法人 人権教育啓発推進センター
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12
KDX芝大門ビル4階

◆本相談事業は、厚生労働省の平成26年度社会福祉推進事業により実施するものです。

放送大学学生募集

放送大学はテレビ・ラジオの放送やインターネットを通して学ぶ正規の通信制大学です。

大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、いつでも、どこでも、誰でも、学びたいだけ学べる大学です。

ただいま平成26年10月入学制を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べます。入学試験はありませんので、お気軽にお問い合わせください。資料のお取り寄せは無料です。

○出願期間：6月15日～8月31日

○お問い合わせ：放送大学和歌山学習センター
〒641-0051 和歌山市西高松1丁目7-20

TEL：073-431-0360

E-mail：wakayama-sc@ouj.ac.jp

あなたも放送大学で学んでみませんか？

平成26年度 各種講習日程表(8月～11月)

建設業労働災害防止協会 和歌山県支部

TEL (073) 436-1327 FAX (073) 426-3987

講習場所：和歌山県建設会館 3F会議室

講習の名称	日時	受講料等	受付開始日
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者 (1・2級土木施工管理技術検定合格者のみ)	8月26日(火) 午後1時～	¥9,100	7月28日(月)～
職長・安全衛生責任者教育 (リスクアセスメント含む)	9月9日(火) ～9月10日(水)	¥12,900	8月11日(月)～
現場管理者統括管理講習 (リスクアセスメント含む)	10月1日(水)	¥8,200	9月1日(月)～
コンクリート造の工作物の解体等 作業主任者	11月11日(火) ～11月12日(水)	¥10,800	10月14日(火)～
施工管理者等のための足場点検実務者研修	11月18日(火) 午後1時～	¥6,900	10月20日(月)～

《注》定員になり次第、締め切ります。

防災

防災ラジオの貸し出しについて

太地町では、災害時の緊急情報や避難情報など、町民の皆さんの安全を守り、大切な情報をお届けするために、防災行政無線（町内放送）を受信できる機能を持った「防災ラジオ」を貸し出しています。

◇対象 太地町全世帯

◇無償貸し出し・随時受付・その場で受け取り可能

お申込みは太地町役場総務課

(0735-59-2335) へお願いします。

申込書は役場にごございますので、お申込みの際は印鑑をご持参ください。

町内放送が聴きやすく、災害時にも便利です！



太地町防災ラジオ

なお、お申込みや受け取りが困難な方は、お気軽に役場総務課までご連絡ください。

行政なんでも相談所

●行政相談とは●

国・県・市町村の仕事について「どうなっているんだろう」「納得できない」といった皆さまからの意見・苦情をお聞きし、問題の解決に努める役割をしています。

相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時：7月16日（水） 午前10時～11時30分

場所：太地町公民館2階 視聴覚室

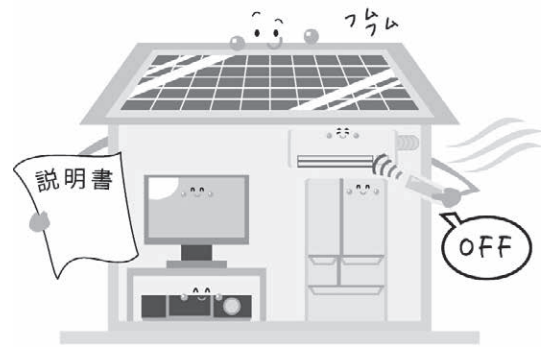
相談委員：長尾 宝代 行政相談委員

お問い合わせ：太地町役場 総務課

(0735-59-2335)

8月は電気使用安全月間です

電気はムダなく、安全使用で！



経済産業省 主唱

平成26年度自衛官等募集案内

自衛隊和歌山地方協力本部

新宮地域事務所 TEL/FAX 0735(21)3449

募集資格	受験資格	受付期間	試験期日
自衛官候補生 (陸・海・空) 任期制自衛官	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の者	男	年間を通じて 行っております。
		女	8月1日～9月9日
一般曹候補生 (陸・海・空) 非任期制自衛官	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	9月11日(木)
			9月17日(水)
航空学生 (海・空) パイロット養成	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	9月28日(日)
			10月1日(水)
			9月25日(木)
一般曹候補生 (陸・海・空) 非任期制自衛官	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	和歌山市
			田辺市
航空学生 (海・空) パイロット養成	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	1次:9月19日(金)
			2次:10月10日(金)
			10月11日(土)
航空学生 (海・空) パイロット養成	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	和歌山市
			1次:9月23日(火)
			2次:10月18日～23日(別示)
航空学生 (海・空) パイロット養成	平成27年4月1日現在 18歳以上27歳未満の男・女	8月1日～9月9日	和歌山市
			3次:11月15日～12月18日(別示)

《保健衛生関係7月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
7月10日(木)	ちびっ子ひろば (あったか子育て講座)	10:00～12:00	公 民 館
7月17日(木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 2日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
7月11日(金)	成人健康相談(血压測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
7月28日(月)	成人健康相談(血压測定)	15:00～15:30	森浦集会所

※成人健康相談(血压測定) 14:30～15:00の開催場所は奇数月は寄水集会所、偶数月は東新集会所で行っておりますのでご注意ください。

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 3日(木)	10か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
7月17日(木)	1歳半・3歳半児健診	12:30～12:45(受付)	多目的センター
7月24日(木)	4か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
7月 7日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
7月28日(月)			
7月14日(月)			森浦集会所
7月28日(月)			

一白馬からお便り一 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



第48回貞逸祭・白馬連峰開山祭

第48回目を迎える「白馬連峰開山祭(貞逸祭)」が5月31日(土曜日)に白馬岳の登山口猿倉で開催されました。開山祭では神事が執り行われ、今シーズンの山の安全が祈念されました。

開山祭の後の行われた記念トレッキングでは、約500名の参加者が白馬大雪渓までの登山を楽しみ、記念白馬岳登山ツアーでは12名の登山者がまだ雪が多い白馬大雪渓を登り、無事に白馬岳に登頂しました。晴天のもと、多くの参加者に見守られて、最高の形で今年の夏山シーズンが開幕しました。

くじら浜海水浴場(旧畠尻海水浴場)

7月4日(金)～8月24日(日)

夏の恒例イベントになりつつある「くじらと出会う海水浴場」を今年も7月12日(土)～8月24日(日)まで行いますので皆さんぜひお越しください。

※お問い合わせ
役場産業建設課観光係
TEL 59-2335(内線61)



住民基本台帳
(平成26年5月末日現在)

総人口 3,346人

男 1,511人

女 1,835人

世帯数 1,643世帯

(前月比: 総人口 11人増)

世帯数 6世帯減)